

ネットワーク構成団体の食育活動紹介

札幌市私立保育連盟白石区会

(友愛白石認定こども園)

年長児は春に畑やプランターで育てたい野菜を決め、生長に興味を持ちながら水やりをし、収穫を楽しみにしています。また、食べることはもちろん、自分たちで作る喜びも感じられるよう月1回クッキングを行っています。

7月には年長児が夜まで園で過ごすスペシャルデーがあり、夕食作りを行います。毎年好きな絵本をテーマに様々な行事を行うのですが、今年は「ぐりとぐら」だったので、「カステラを作ろう!」と決めた子ども達。そして主食は大好きなラーメンを作ることになりました。

グループ毎に好きなトッピングを考え、前日にみんなで食材を買いに出かけて準備完了。包丁を使い交代で野菜を切り、具材を炒めてラーメンを作る顔は真剣そのものでした。また、小麦粉、牛乳、卵を混ぜて一人ずつのカップに生地を入れてカステラ作りも終了。じっくりと焼き、完成したカステラはしっとりふわふわで味も「美味しい!」と大好評でした。ラーメンもたくさんおかわりし、楽しいひと時を過ごしました。

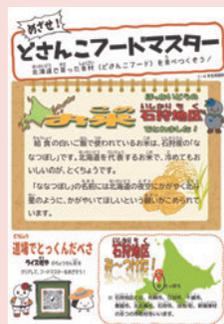
次は何を作ろう?と食に対する興味がつきない子ども達です。



栄養教諭・栄養士白石ブロック

めざせ! どさんこフードマスター

白石区の小中学校では、栄養教諭・栄養士が連携し学校給食を活用した食指導を行っています。今そして将来の健康な体づくりのために、野菜摂取の大切さを理解し、実践できる子どもを育てることを目指しています。



毎月、給食で使用する道産食材を紹介しています。児童生徒に配布するプリントには、二次元コードがありクイズに挑戦できます。



8月の野菜摂取強化月間には、野菜を使用した特別感のあるメニューを提供したり、道産食材についての掲示をしたり、子どもたちが楽しみながら学べる工夫しています。



札幌市私立幼稚園連合会白石区園長会

(菊水いちい認定こども園、東橋いちい認定こども園)

「北邦学園食育推進プロジェクト～美味しいって楽しい!～」のもと、人生の基礎である乳幼児期に、食を通して将来の財産となる食への興味を引き出し、食習慣の基礎作りや味覚の形成などと共に、食べることへの喜びをもてるように取り組んでいます。その一部をご紹介します!



うまい(米)デイ

地産地消の取組の一つとして道内のこだわり農家さんから道産米を取り寄せ、月に一度提供し、お米のおいしさを味わっております。子どもたちもうまいデイが楽しみです!

こだわり野菜

月に1~2回、こだわりのその土地でしか生産していない野菜を、札幌市内、近郊の生産者から取り寄せています。普段はほとんど食べないけれど、食材本来の味わいから「おいしい♡」と食べてしまう子どもたちの声が続出しています。



フルーツお楽しみ会

学園の食育アドバイザーでもあるフルーツプランナーによるフルーツ講座を、年長クラスを対象に実施し、身近な果物に興味や関心をもてるようにしています。

Youth+ポプラ (ポプラ若者活動センター)

Youth+ポプラ (ポプラ若者活動センター)は、15歳~34歳の若者の「やりたい」を応援する札幌市の施設です。

施設を利用する方と職員が料理を作り、たくさんの人と一緒に食べて交流を行っています。メニューはその時々ですが、利用する方からの「これを食べたい!」というリクエストや、「このメニューをみんなに振舞いたい!」といった声がメニューになることがほとんどです。



この日のメニューはハンバーグ。「家で作るよりも、誰かと一緒に作るって楽しいよね!」「自分で作った料理をみんなで囲むと嬉しいよね!」など、Youth+ポプラで食事を囲むときはいつも聞こえてくる言葉です。

Youth+ポプラでは、食事の栄養はもちろんですが、誰とどんな形で楽しい食事をするかということも意識した食育に取り組んでいます。